

# 令和3年度 一般会計決算附属資料

## 商工観光部 主要な施策の成果

予算科目	款	05 労働費	本年度決算額 3,612千円	最終予算額 3,656千円	不用額 44千円	執行率 98.7% (参考)当初予算額 6,451千円	部	商工観光部
	項	01 労働諸費						課
	目	01 労働諸費						
	事業	01 人材確保・就職促進対策事業						

基本計画 01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興

目的 京丹後市地域雇用促進協議会が実施する人材確保・就職促進事業費の一部を負担し、市内事業所の人材確保を支援、また資格取得を目指す求職者等の支援を行うとともに、職業訓練事業実施団体の運営・訓練費を補助し、雇用の安定化と就職促進を図る。

主な財源

○人材確保対策事業 1,169千円  
 ◆京丹後市地域雇用促進協議会負担金 1,169千円  
 ・高校生地元企業見学ツアー（参加者延べ19人、訪問先9社）  
 ・採用力強化セミナー（計4回開催、参加企業延べ32社）  
 ・企業ガイドブック作成（掲載企業57社、3,000部発行）  
 ・きょうたんご就職フェア（参加者22人、参加企業28社）

○就職促進対策事業 2,428千円  
 ◆職業能力向上支援補助金 356千円  
 ・交付件数：67件 交付者数：42人  
 ・補助率：研修受講料の2分の1以内（上限額：年間2万円/人）  
 ・補助金実績

◆丹後地域職業訓練協会運営費補助金 2,072千円  
 ・職業訓練講座：22講座28コース実施（R2：22講座25コース）  
 ・受講者：延べ295人（市内193人）（R2：延べ295人（市内187人））

○職員旅費 8千円  
 ○有料道路通行料 7千円

主要な事務・事業の概要

	H29	H30	R元	R2	R3
交付件数(件)	67	62	71	76	67
交付額(千円)	384	298	332	358	356
交付者数(人)	40	38	42	46	42

成果・課題  
 ○京丹後市地域雇用促進協議会の事業に対し負担金を支出し、採用力強化セミナー、企業見学ツアーなど企業のニーズに合った取り組みを実施することで、企業の採用力のレベルアップに貢献した。  
 ○各種研修・職業訓練事業に対する支援を行うことで、労働者や求職者のスキルアップを図るとともに、求職者等の就労を促すことができた。  
 ○スキルを習得した人材、U・Iターン希望者と企業とのマッチングを図り、人材確保や就労促進のため地域雇用促進協議会の取組を継続する必要がある。

予算科目	款	05 労働費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																							
	項	01 労働諸費	26,454千円	26,454千円	0千円	100.0%																									
	目	01 労働諸費				(参考)当初予算額	課	商工振興課																							
	事業	02 中小企業緊急雇用調整助成事業				50,000千円																									
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		23,000千円																									
目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業者に対して、国の助成金と協調し、市独自の助成金を上乗せして交付することにより、事業者の経費負担の軽減、雇用の維持等、雇用の安定化を図る。		主な財源	繰入金	新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金		3,000千円																								
主要な事務・事業の概要	○中小企業緊急雇用調整助成金		26,454千円		(参考)																										
	新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動の縮小を余儀なくされた市内中小企業者が、雇用する労働者に対して一時的に休業、教育訓練又は出向を行い雇用の維持を図った場合に、国からの雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金に上乗せして助成				国の雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金																										
	<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>462 件</td> <td>交付企業数</td> <td>85 社</td> </tr> </table>		交付件数	462 件	交付企業数	85 社			<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>R3.5~12</td> <td>R4.1~2</td> <td>R4.3~6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">助成率</td> <td>中小企業</td> <td colspan="3">4/5 (9/10)</td> </tr> <tr> <td>大企業</td> <td colspan="3">2/3 (3/4)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">上限額</td> <td>13,500円</td> <td>11,000円</td> <td>9,000円</td> </tr> </table>						R3.5~12	R4.1~2	R4.3~6	助成率	中小企業	4/5 (9/10)			大企業	2/3 (3/4)			上限額		13,500円	11,000円	9,000円
	交付件数	462 件	交付企業数	85 社																											
		R3.5~12	R4.1~2	R4.3~6																											
助成率	中小企業	4/5 (9/10)																													
	大企業	2/3 (3/4)																													
上限額		13,500円	11,000円	9,000円																											
【交付内訳】				※括弧書きの助成率は解雇等を行わない場合																											
<table border="1"> <tr> <td>雇用調整助成金（被保険者）</td> <td>365件</td> <td>24,710千円</td> </tr> <tr> <td>緊急雇用安定助成金（被保険者以外）</td> <td>97件</td> <td>1,744千円</td> </tr> </table>		雇用調整助成金（被保険者）	365件	24,710千円	緊急雇用安定助成金（被保険者以外）	97件	1,744千円																								
雇用調整助成金（被保険者）	365件	24,710千円																													
緊急雇用安定助成金（被保険者以外）	97件	1,744千円																													
【助成額】																															
国の助成金の「基準賃金額」から「国の1人日当たりの助成金額」を控除した額に、「月間休業等延日数」を乗じた額 ※国と市を合わせた1人日当たりの助成額上限 国の上限額の4分の5																															
成果・課題	○国の助成金と合わせて市独自の助成金を交付することにより、事業者の経費負担の軽減、雇用の維持等、雇用の安定化を図ることができた。 ○国の特例措置が段階的に縮小される中で、事業者の負担軽減を支援し、雇用の維持を図るためにも、本事業の周知を行い、引き続き支援をしていく必要がある。																														

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 4,371千円	最終予算額 4,513千円	不用額 142千円	執行率	部 商工観光部	
	項	01 商工費				96.8 %		
	目	01 商工総務費				(参考)当初予算額		
	事業	50 商工総務一般経費				6,265千円		課 商工振興課
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源					
目的	商工行政に係る業務を推進するために必要な経費及び公用車の維持管理費							
主要な事務・事業の概要	○公用車維持管理経費（商工観光部管理台数：8台） ・燃料代 758千円 ・車検代、修理代、保険代 908千円 ・テレビ受信料 14千円 ・ETCカード発行手数料等 2千円		1,682千円	○会計年度任用職員任用経費 ・報酬 1,668千円 ・職員手当等 352千円 ・共済費 346千円 ・費用弁償 108千円 ※産休・育休代替1人		2,474千円		
	○消耗品費（事務用品）		108千円					
○旅費		107千円						
				成果・課題	○公用車のメンテナンスや点検などを的確に行うことで、職員が業務に支障なく取り組めた。 ○使用前後の点検等を徹底するなど、車両の長寿命化を図る必要がある。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 77,653千円	最終予算額 79,750千円	不用額 2,097千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				97.3 %	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	
	事業	01 商工会助成事業				79,750千円	
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源				
目的	京丹後市商工会が実施する小規模事業者への経営指導及び相談対応事業、地域産業を総合的に振興する事業、織物指導等、地域産業活性化のためのイベント事業や商店街の環境整備事業に対して支援を行い、本市商工業の総合的な振興・発展を図る。						
主要な事務・事業の概要	○小規模事業経営支援事業費補助金 66,786千円 経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業を支援		○地域活性化事業補助金 2,000千円 地域の活性化イベントである「京丹後商工祭」の開催を支援した。 【総事業費】5,334千円（補助対象経費：3,355千円） 【開催期間】11月21日～12月19日 【事業内容】				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営改善普及指導事業分 63,500千円 小規模事業者への経営指導、経営相談等の事業費及び指導員の設置費</li> <li>地域総合振興事業分 3,286千円 市場開拓、小売商業振興等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>スタンプラリーの実施 市内6か所に設置された石版に埋め込まれたQRコードを読み込みスタンプを獲得（応募者数：363人）</li> <li>テイクアウトイベントの実施 11月21日に丹後王国「食のみやこ」駐車場で実施（来場者数：250人）</li> </ul>				
	○織物指導等小規模生産基盤整備事業費補助金 8,134千円 丹後の織物技術を維持し製品の品質確保を図るため、延べ1,556件の織物技術指導と46件の小規模な生産基盤整備を支援		○商店街環境整備事業補助金 733千円 景観の向上と通行の安全確保を図るため、市内商店街等の老朽化した街路灯（スズラン灯）の撤去を支援		成果・課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>□大野地区：5本撤去</li> <li>□善王寺地区：1本撤去</li> <li>□周枳地区：21本撤去</li> </ul>		○商工会による小規模事業者への巡回指導や織物事業者への技術指導及び小規模生産基盤整備への支援に加え、国・府・市等の新型コロナウイルス感染症対策支援に係る給付金等の申請支援を行い、事業者の経営安定化に寄与した。		○小規模事業者の継続的発展による事業承継や販路拡大を進めるには、経営指導等の伴走支援を行う商工会の役割が重要であるため、引き続き支援していく必要がある。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							46,617千円	46,617千円	0千円	100.0%
	目	02 商工振興費										(参考)当初予算額
	事業	02 丹後地域地場産業振興センター運営支援事業										40,705千円
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源									
目的	丹後地域地場産業振興センターが行う地場産業の振興を図る各種事業や施設管理を支援することで、本市における地場産業の総合的な振興を図る。											
主要な事務・事業の概要	<p>公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う施設管理、丹後ブランド製品の販売、地場製品の販路拡大、新商品の開発、人材育成、情報の収集・提供、展示室の有効活用など地場産業の振興を図る各種事業の実施に対し、補助金を交付した。</p> <p>○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター運営費補助金 39,579千円</p> <p>【主な実施事業】</p> <p>◆新商品・新技術開発事業</p> <p>高機能急速冷凍装置の活用による新サービス開発事業 (延べ利用回数 236回、実利用事業者数 22事業者)</p> <p>◆人材育成事業</p> <p>食品品質向上セミナーの開催 (13事業者19人参加)</p> <p>◆需要開拓事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Tango Good Goods認定及び販売促進事業 令和3年度認定数：39事業者、62商品</li> <li>・「Tango Good Goods見本市」の開催 10月16日～17日 大宮社会体育館 来場者数2,700人、出展者数23者、商談件数21件</li> <li>・他地域の物産展、イベント等への出店</li> </ul> <p>丹後のええもんうまいもん展・合同産直市 (大阪府吹田市) 等に57回出展し、延べ96事業者が参加</p>			<p>◆地場産品展示普及支援事業</p> <p>地場産品の常設展示販売及びECサイト、ふるさと納税サイトでの販売 (173事業者、約3,000品目、年間売上約49,720千円)</p> <p>◆誘客販売事業</p> <p>野村克也メモリアルプロジェクトに係るお土産品の開発支援 (2事業者による4点の新商品開発)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノムさん湯のみ、ノムさん絵馬</li> <li>・ノムさんのボヤキせんべい 箱入り、袋入り</li> </ul> <p>○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター大規模改修補助金 7,038千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防設備修繕 (防火扉、屋内消火栓呼水層及び配管) 641千円</li> <li>・玄関自動扉部品交換 484千円</li> <li>・空調設備改修 (2階ロビー空調室外機交換、各室室外機の底板腐食箇所修繕) 5,913千円</li> </ul>								
	成果・課題	<p>○令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた市域外のイベントや物産展が一定復活し、事業者の積極的な出展を支援することで、丹後の産品の魅力をアピールすることができた。</p> <p>○野村克也ベースボールギャラリーの特別展開催に合わせ、新たに野村克也氏をフィーチャーした商品開発を支援することで、誘客へつながった。</p> <p>○施設の老朽化が進んでいるため、優先順位を定め、計画的な施設修繕を支援していく必要がある。</p>										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 22,636千円	最終予算額 23,626千円	不用額 990千円	執行率	部 商工観光部																									
	項	01 商工費				95.8 %																										
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額																										
	事業	03 金融支援事業				59,925千円																										
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			19,500千円																									
目的	市内事業者による運転資金や設備資金の借入に係る信用保証料及び利子に対して補助を行うことにより、資金調達の円滑化と借入に係る負担の軽減を図り、市内中小企業者の経営の安定化と成長の促進を図る。			主な財源																												
主要な事務・事業の概要	○京丹後市商工業経営安定利子補給金 457千円 市内商工業者等が活用した京都府、京丹後市及び政府系金融機関制度融資の借入金の利子を、借入利率のうち1.7%（平成27年度以降の借入）又は、1.8%を超える部分（平成28年度の借入）で最大2.5%分、1業者当たり年度内100万円を限度に交付 <table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>8件</td> <td>交付額</td> <td>457千円</td> </tr> </table>			交付件数	8件	交付額	457千円	○京丹後市信用保証料補助 13,030千円 京都府、京丹後市及び政府系金融機関制度融資に係る市内中小企業者の信用保証料について、新型コロナウイルス感染症緊急支援として補助率を拡充し、1事業者あたり年度内40万円を限度に交付 <table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>建設業</th> <th>製造業</th> <th>卸売・小売業</th> <th>飲食店宿泊業</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数(件)</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>交付額(千円)</td> <td>2,663</td> <td>2,859</td> <td>3,485</td> <td>1,886</td> <td>2,137</td> <td>13,030</td> </tr> </tbody> </table>				業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店宿泊業	その他	合計	件数(件)	13	13	17	10	14	67	交付額(千円)	2,663	2,859	3,485	1,886	2,137	13,030
	交付件数	8件	交付額	457千円																												
	業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店宿泊業	その他	合計																									
件数(件)	13	13	17	10	14	67																										
交付額(千円)	2,663	2,859	3,485	1,886	2,137	13,030																										
○新型コロナウイルス感染症対策利子補給金 8,802千円 市内商工業者等が活用した京都府、京丹後市及び政府系金融機関制度融資の借入金の利子を、借入利率のうち0.46%分（令和2年1月29日以降の借入）を1業者当たり年度内100万円を限度に交付 <table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>129件</td> <td>交付額</td> <td>8,802千円</td> </tr> </table>			交付件数	129件	交付額	8,802千円	○平成29年台風18号被災中小企業者等災害復旧融資支援補助金 78千円 被災事業者の復旧に要した融資の利子60月分の内令和4年度分の1/2を補助 <table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>3事業所</td> <td>交付対象融資額</td> <td>25,278千円</td> <td>交付額</td> <td>78千円</td> </tr> </table>				交付件数	3事業所	交付対象融資額	25,278千円	交付額	78千円																
交付件数	129件	交付額	8,802千円																													
交付件数	3事業所	交付対象融資額	25,278千円	交付額	78千円																											
○経営力向上企業支援利子補給金 269千円 市内商工業者等が経営力向上計画の認定を受け、市内民間金融機関又は政府系金融機関から設備資金の融資を受けた場合にその利子について、借入利率のうち0.1%分を1事業者当たり年度内20万円を限度に交付 <table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>18件</td> <td>交付額</td> <td>269千円</td> </tr> </table>			交付件数	18件	交付額	269千円	成果・課題 ○資金借入に伴う信用保証料や利子の負担を軽減することにより、市内商工業者の経営の安定化と成長の促進に資することができた。 ○利子補給により経営力向上計画の認定を誘導し、事業所の生産性向上に資することができた。 ○新型コロナウイルス感染症及び国際情勢の影響を受け、先行きが見通せない非常に厳しい経営状況にある市内商工業者の資金調達を円滑にするため、必要に応じ支援の拡充を検討する必要がある。																									
交付件数	18件	交付額	269千円																													

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							29,778千円	30,676千円	898千円	(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	02 商工振興費												
	事業	04 商工業支援事業												
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	9,000千円								
目的	創業支援のほか、空き店舗・空き工場の活用、新商品の開発、販路開拓、知的財産権取得、織物業や機械金属業等製造・加工業における経営力向上のための設備投資など市内商工業者の新たな取組への支援を行い、地域経済の活性化を図る。			府補	きょうと地域連携交付金（商工業積極展開支援事業）	5,000千円								
			繰入金	ふるさと応援基金繰入金	10,000千円									
主要な事務・事業の概要	○創業等支援補助金		17,896千円											
	中小企業者等が行う創業や空き店舗の活用に関する取組を支援													
	内訳	創業支援事業（創業時）	18件	12,837千円										
		空き店舗・空き工場等の活用促進事業（開業時）	6件	5,059千円										
	○商工業支援補助金		52千円											
中小企業等が行う事業承継支援事業1件の取組を支援														
○製造・加工業経営革新等推進事業補助金		11,830千円												
織物業及び機械金属業等の製造・加工業の中小企業者等が行う生産設備の 新增設や更新等、経営力向上のための設備投資を支援														
内訳	織物業	35件	7,996千円											
	機械金属業等	8件	3,834千円											
				<p>○市民等が行う創業、空き工場等を活用した新たな事業展開に対して支援を行い、市内商工業の振興につなげることができた。</p> <p>○事業承継を進めるために必要な手続きに対して支援を行うことで、円滑な事業承継に寄与することができた。</p> <p>○経営力向上計画の認定を補助金の交付要件とすることで、同計画認定へ誘導し、事業者の生産性の向上に資することができた。</p>										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部					
	項	01 商工費							22,022千円	23,089千円	1,067千円	95.3 %	
	目	02 商工振興費											(参考)当初予算額
	事業	06 企業立地推進事業											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	4,000千円							
目的	市の事業用地及び企業立地支援制度を広く周知し、市内外企業等の立地を促進するとともに、基準を満たした事業所の新增設を支援することで、雇用の創出・拡大及び地域産業への経済波及効果の創出を図る。			府補	きょうと地域連携交付金（企業立地推進事業）	5,000千円							
主要な事務・事業の概要	○企業立地促進事業 40千円 企業検索システム使用料		○企業移転移住支援金 4,200千円 代表者又は従業員の3人以上の移住を伴って移転してきた事業所に対して支援金を交付（1事業所につき3,000千円、移住者一人につき400千円）										
	○京都市府市町村企業誘致推進連絡会議分担金 80千円 京都府用地バンクの運営・改修、会社四季報業界地図の購入、工業団地紹介映像の制作		<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>1事業所</td> <td>交付額</td> <td>4,200千円（移住者数 3人）</td> </tr> </table>						交付件数	1事業所	交付額	4,200千円（移住者数 3人）	
交付件数	1事業所	交付額	4,200千円（移住者数 3人）										
○企業立地支援事業（市民の新規正規雇用者数11人） 17,702千円 事業所の新增設を行い、かつ正規雇用者を2人以上増加させた「指定事業所」（中小企業）に対して、企業立地助成金（新規地元常用雇用者1人につき上限100万円）及び企業立地奨励金（固定資産税納付相当額）を交付		成果・課題 ○指定事業所に企業立地助成金・奨励金を交付することにより、市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに、雇用の拡大と経営の安定化を図った。 ○引き続き、企業立地助成金や奨励金をはじめとする有利な制度のPRを行い、市内への企業立地活動を推進していく必要がある。											
※指定事業所数（R3 交付対象） 14事業所		<table border="1"> <tr> <td>企業立地助成金</td> <td>4件</td> <td>11,000千円</td> </tr> <tr> <td>企業立地奨励金</td> <td>7件</td> <td>6,702千円</td> </tr> </table>						企業立地助成金	4件	11,000千円	企業立地奨励金	7件	6,702千円
企業立地助成金	4件	11,000千円											
企業立地奨励金	7件	6,702千円											

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 2,603千円	最終予算額 2,695千円	不用額 92千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				96.5 %	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	課 商工振興課
	事業	07 工業団地維持管理事業				898千円	

基本計画 01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興

目的 市内工業団地の維持管理を行い、団地の環境美化に努めるとともに、魅力的な立地環境を維持する。

主な財源

○維持管理経費 2,603千円  
市内5工業団地の法面の草刈り及び溝の清掃等  
【維持管理経費の内訳】 (単位：千円)

団地名	面積 (㎡)	光熱水費等	委託料	土地借上料	その他	計
①赤坂工業団地（峰山）	63,121	9	594	-	3	606
②清水工業団地（大宮）	28,151	-	-	-	-	-
③大山工業団地（丹後）	32,962	-	1,608	3	1	1,612
④谷工業団地（久美浜）	61,703	-	385	-	-	385
⑤永留工業団地（久美浜）	41,489	-	-	-	-	-
合計	227,426	9	2,587	3	4	2,603

主要な事務・事業の概要

- ① 赤坂工業団地の「光熱水費等」は入口看板照明電気料、「委託料」は環境美化業務委託料
- ③ 大山工業団地の「委託料」は環境美化業務委託料（108千円）・敷地分筆委託料（1,500千円）、「土地借上料」は下水道管敷設用地
- ④ 谷工業団地の「委託料」は環境美化業務委託料

成果・課題  
○市内5か所の工業団地の適切な維持管理及び環境美化に努めた。  
○いずれも合併前に建設された工業団地であり、繁茂した雑木や側溝・排水路の堆積物等を順次処理していく必要がある。

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 11,255千円	最終予算額 11,287千円	不用額 32千円	執行率	部 商工観光部	
	項	01 商工費				99.7%		
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額		
	事業	08 自然あふれるビジネスモデル推進事業				14,218千円		課 商工振興課
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源					
目的	テレワークなどの多様な働き方が浸透する中、市テレワーク推進戦略に基づいてテレワーク環境を整備し、都市部の企業や人材の誘致を図るとともに、市内外の事業者による異業種交流等を通じ、市内事業者のイノベーション展開を促進する。							
主要な事務・事業の概要	○テレワーク戦略実践会議（2回開催） ・委員謝金（2人） ・委員費用弁償 ○テレワーク戦略推進業務委託 ・自然あふれるビジネスモデル事業コーディネート業務 【テレワーク、ワーケーション受入研修会】 実施日：令和4年2月24日    参加者：43人（内オンライン13人） 【モニターツアー】 実施日：令和4年3月1日～3日    参加者：首都圏7事業者 【オンライントークイベント】 実施日：令和3年11月29日    参加者：60人 実施日：令和4年3月10日    参加者：98人（内アーカイブ視聴52人） ・トライアル逆参勤交代事業委託料 都市部からの企業や人材が、市内においてテレワークを通じて滞在するリアルイベントを開催。 【事前講座】 実施日：令和3年11月2日    参加者：35人（オンライン含む） 【トライアル逆参勤交代】 実施日：令和3年11月26日～28日    参加者：14人		109千円	108千円	1千円	9,590千円	8,690千円	900千円
	○テレワーク環境整備支援補助金 市内のテレワーク拠点の拡大を図るため、市内民間事業者が行うテレワークのためのWi-Fi施設整備や、コワーキングスペース開設のための施設改修等の費用に対して補助金を交付。（交付件数：2事業所）  ○アミティ丹後内コワーキングスペースの運営 ・貸館借上料 ・運営管理委託料 利用者：延べ884人		665千円			891千円	627千円	264千円
成果・課題			○コーディネート業務を委託し市内事業者によるコンソーシアムの立上げ、既存の市内コワーキングスペース同士の連携など、専用ホームページ上で一元的に市内外に向けた情報発信を行うことができた。 ○テレワークを行う施設の整備や、企業研修プログラム等、ハード・ソフトの両面において市テレワーク推進戦略に基づき進めることができた。引き続き、サテライトオフィスの設置や企業研修等による都市部企業の誘致を見据え、更なるプロモーション活動や各種プログラムの商品化を行っていく必要がある。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							4,211千円	4,221千円	10千円	99.7%
	目	02 商工振興費										(参考)当初予算額
	事業	09 機械金属業振興事業										5,199千円
課	商工振興課											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補	地方創生推進交付金(1/2)			2,042千円					
目的	機械金属関連事業者の販路開拓、新分野のビジネス展開など、丹後機械工業協同組合の活動を支援し、基盤産業である機械金属業界全体の成長・発展を図る。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	○機械金属業販路開拓等事業費補助金 4,211千円 実施主体：丹後機械工業協同組合 補助率：3分の2以内 実施内容：新分野・ビジネス開拓推進事業 第24回関西機械要素技術展(大阪・10月)7社出展 高精度・難加工技術展2021(東京・12月)3社出展 京都ビジネス交流フェア2022(京都・2月)11社出展  ※新型コロナウイルス感染症の影響により、イノベーション・未来創造研究事業(セミナー・交流会等の開催)は中止											
	成果・課題	○令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響により出展を見合わせていた、都市部3会場の展示会への出展を支援することにより、産地ブランドのPR及び、丹後の機械金属産業の事業分野の拡大を図ることができた。 ○業界の成長・発展を図るため、引き続き新規顧客の獲得や成長産業分野への進出を支援していく必要がある。										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 6,475千円	最終予算額 6,476千円	不用額 1千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				99.9 %	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	
	事業	10 人材育成事業				6,800千円	
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源				
目的	公益財団法人京都産業21が「丹後・知恵のものづくりパーク」(北部産業活性化拠点・京丹後)を拠点として実施する研修事業及び施設の管理運営等に必要な経費の一部を負担することにより、事業の円滑な実施と適切な施設運営を促す。						
主要な事務・事業の概要	○「丹後・知恵のものづくりパーク」管理運営・人材育成研修事業 ・管理運営事業負担金 5,975千円 ・人材育成研修事業負担金 500千円 女性リーダー育成セミナー (4回開催 延べ受講者数：103人) 営業力強化セミナー (4回開催 延べ受講者数：51人) ※両セミナーともオンラインでの開催						
	成果・課題	○「丹後・知恵のものづくりパーク」の適切な管理運営や、府北部の中小企業等への経営・技術等の総合支援、さらには、ものづくり人材育成研修など、各種ものづくり産業の振興に資する事業等の費用を負担することで、適切な施設運営に寄与した。 ○市内産業の活性化を図るため、引き続き「丹後・知恵のものづくりパーク」の維持及び各種人材育成研修を実施する必要がある。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 2,463千円	最終予算額 2,470千円	不用額 7千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				99.7%	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	
	事業	11 近未来技術地域導入促進事業				3,067千円	
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補 地方創生推進交付金(1/2)			645千円	
目的	近未来時代の将来を見越したデジタル社会の啓発を図るとともに、先端技術を活用した事業活動を支援するため、市内事業者、市内関係団体等による京丹後DXを推進し、ICT技術を用いた近未来時代に対応した事業活動や市民活動を促進する。			主な財源			
主要な 事務・ 事業の 概要	○京丹後DX推進検討経費 369千円 市内海水浴場駐車場の混雑情報可視化や、ドローンを使用しての実証実験などについて、計3回の協議と2日間の現地視察を行った。 また、地元の観光協会・区・NPO法人と会議を行い、市内海水浴場の持つ課題共有と意見交換を行った。 ・アドバイザー謝金(費用弁償含む) 189千円 ・職員旅費 180千円			○異業種交流ビジネス支援補助金 909千円 織物業と機械金属業が協力し、先端技術を活用した新しい織物と織物技術を開発する取組を支援 補助率：2/3 限度額：1,000千円 交付先：丹後ものづくり産業共創プロジェクト推進協議会			
	○ODX事業実証等委託料 995千円 ・海水浴場駐車場混雑情報配信サービス 500千円 市内海水浴場開設者と連携して、駐車場周辺の混雑状況をWebサイトで可視化し、海水浴場周辺の交通渋滞の回避等について検証する実証事業を実施 実証期間：7月10日～8月22日 実施場所：海水浴場開設者が管理する市内21か所の駐車場 ・ドローン物流基礎調査 495千円 ドローンによる荷物配送の可能性と収益性などについて、調査・検討を行った。			○産官学デジタル化促進事業ワークショップ講師謝金 [政策企画課] 190千円 ICT・ビジネスの分野において高い専門性を有するiU情報経営イノベーション専門職大学の准教授を講師として招き、市内企業がDXに係るアプローチの理解を深めるとともに、身近な業務を効率化するための小さな実績も含むDXの実行計画を策定することを目的としたワークショップを開催 開催日：8月17日、18日(2社参加)			
成果・課題				○駐車場混雑情報配信については、URLを観光公社HPに公開し、約12万件のアクセスがあった。海水浴場駐車場では、混雑の解消や満車後の待機車両の減少といった効果があった。配信側は、専用の機械装置ボタンを使用しての実証であったため、スマートフォンやタブレットなどから情報配信できるようにするなど改善が必要である。 ○市内企業を対象としたワークショップでは、自社課題の整理・分析、QuickWin(比較的早期に結果が現れる取組)の洗い出しができた。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 308千円	最終予算額 309千円	不用額 1千円	執行率 99.6 % (参考)当初予算額 2,754千円	部	商工観光部				
	項	01 商工費						課	商工振興課			
	目	02 商工振興費										
	事業	12 民民れんけい推進本部事業										
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補 地方創生推進交付金(1/2) 75千円									
目的	市外の先進企業や大学等と市内の企業や団体・市民の連携を促進し、市の施策に基づく産業振興、福祉、教育、防災など様々なプロジェクトを円滑に実行する拠点として「民民れんけい推進本部」を設置する。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	○民民れんけいアドバイザー謝金 308千円 DXやテレワーク、SDGs等に関するアドバイスや会議出席に対する謝金  【活動内容】 ◆ICT戦略アドバイザー 山崎俊巳氏 ・京丹後DX推進検討チームに係る協議への出席 (4月9日、5月17日、6月3日) ◆ふるさと創生・働き方戦略アドバイザー 松田智生氏 ・京丹後市自然あふれるビジネスセンタープロポーザル審査会への出席 (8月6日) ◆SDGs未来都市推進アドバイザー 川廷昌弘氏 ・令和4年度SDGs関連施策に関する予算案作成等へのアドバイス (10月18日、28日) ・SDGs未来都市・ゼロカーボンシティ推進フェア基調講演 (11月21日、来場者数約200人) ◆産業連携戦略アドバイザー 宮城勉氏 ・大阪市内での松本重太郎展の開催及び丹後地域公民館への展示移設への協力 (7月16日)			◆文化国際交流アドバイザー 田中彩子氏 ・丹後文化会館でリサイタルを開催(令和4年2月6日、来場者数316人) ◆医療・健康戦略アドバイザー 二川一男氏 ・「京丹後市立病院改革プランに係る有識者会議」のアドバイザーに就任 (12月7日)  【参考】令和3年度新たに委嘱したアドバイザー ◆文化国際交流アドバイザー 田中彩子氏 ◆経営活力連携アドバイザー 西村晃氏								
				成果・課題	○DXやテレワーク、SDGsに関する専門家からアドバイスをいただき、市の施策形成に活かすことができた。 ○新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、アドバイザーの方々にも本市にお越しいただき、市民・事業者の方々へ直接アドバイスいただく機会を作り、民民れんけい推進本部の活動が市民にとって身近なものとなるよう取り組んでいく必要がある。							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部					
	項	01 商工費							20,873千円	21,016千円	143千円	99.3 %	
	目	02 商工振興費											(参考)当初予算額
	事業	13 大阪・関西万博連携事業											
課	商工振興課												
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補	地方創生推進交付金（1/2）		6,490千円							
			国補	きょうと地域連携交付金（学生起業家支援事業）		1,000千円							
目的	2025年の大阪・関西万博を見据え、大阪と関係の深い松本重太郎翁に関連する事業を通じて、関西の経済団体や企業との連携を促進する。また、ビジネスコンテスト等の開催を通じて、学生等の起業家の注目を集め、新産業の創造や雇用の場の確保を図る。		主な財源										
主要な事務・事業の概要	○松本重太郎展覧会開催業務		6,047千円	○ICT×地方創生甲子園等開催業務		9,860千円							
	<p>松本重太郎翁の生涯や功績を紹介する特別展を開催。また、展覧会開催をPRするため関西圏を走る電車内に広告を掲示した。</p> <p>期間：6月8日～8月31日（来館者数：1,641人）</p> <p>場所：大阪企業家ミュージアム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示制作委託料 3,520千円</li> <li>・解説文等監修謝金 30千円</li> <li>・鉄道広告掲示（7月17日～8月31日） 2,497千円</li> </ul> <p>掲載箇所：JR京都線、神戸線、琵琶湖線ほか JR西日本快速電車内</p>			<p>松本重太郎翁の偉大な功績の顕彰と若者のチャレンジ精神を応援する目的のもと、京丹後の魅力発信や課題解決のため、全国の若者からICT技術を活用した新たなビジネスアイデアを募集し、コンテストを開催した。</p> <p>ICT×地方創生甲子園には全国109チームのエントリーがあり、その中から選ばれた14チームの高校生が出場。JAPAN CHALLENGER AWARDには7人の地域起業家が出場。</p> <p>開催日：11月7日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画運営委託料 9,460千円</li> <li>・最優秀者報償金 400千円</li> </ul>									
	○松本重太郎翁講演会開催費		229千円	○学生起業家支援		3,945千円							
<p>展覧会の開催にあわせ、大阪商工会議所とオンライン講演会を共催</p> <p>期間：7月15日～7月29日（視聴者数：288人）</p> <p>内容：「変革期を生きた企業家から学ぶ」</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェアハウス設置モデル事業補助金（交付件数：1件）</li> </ul> <p>起業家やインターンシップ、新規就労者等の利用に供するシェアハウスを設置するための住宅改修費用に対して補助金を交付。</p>										
○松本重太郎ギャラリー設置業務		792千円	成果・課題	○大阪企業家ミュージアムで開催した松本重太郎展覧会の展示物を移設し、丹後地域公民館内に常設展示ギャラリーを開設した。									
<p>松本重太郎展覧会の展示物を移設し、丹後地域公民館内にギャラリーを設置（10月5日オープン）。（来館者：212人 令和4年3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギャラリー床改修工事費 484千円</li> <li>・順路スタンドサイン等看板製作委託料 308千円</li> </ul>				○引き続き、大阪・関西万博が目指すSDGsが達成される社会に向けて、特に大阪と関係の深い松本重太郎翁に関連する事業を通じて、市内産業の持続・活性化のため、大阪を中心とした関西の経済団体や企業との連携を促進していく必要がある。									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部					
	項	01 商工費							283,726千円	283,726千円	0千円	100.0%	
	目	02 商工振興費											(参考)当初予算額
	事業	14 商工業緊急支援事業											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興												
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対し、給付金による経営支援を行うとともに、事業所の感染症対策を充実させ、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業の継続に向けた支援を行う。		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	269,000千円							
				繰入金	新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金	3,000千円							
			諸収入	事業継続支援緊急資金貸付金元金収入	10,500千円								
主要な事務・事業の概要	国の一時支援金等の対象とならない事業者（前年同月比30%以上50%未満の売上減少）の事業活動の継続及び雇用の維持を支援		○事業所等PCR検査費用等費用補助金		193千円								
	○事業継続応援給付金（対象月1～3月）		40,276千円	市内事業所において、安全で安定的に事業活動を継続できるよう従業員に受検させたPCR検査等に要した経費を補助（受付期間11月～3月）									
	交付件数	519件	交付額	40,276千円	交付件数	9件	交付額	193千円					
	○事業継続支援給付金（対象月4～6月）		94,646千円	○感染防止対策認証制度認証取得支援補助金		507千円							
	交付件数	748件	交付額	94,646千円	市内飲食店等が、京都府の認証制度の認証を取得するために必要な感染症対策経費を補助（受付期間11月～3月）								
○がんばる事業所応援給付金（対象月8～9月）		67,114千円	交付件数		24件	交付額	507千円						
交付件数		524件	交付額	67,114千円	○事業継続支援資金貸付制度		10,500千円						
○宿泊業緊急支援給付金（対象月1～3月）		50,400千円	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国等の助成金等を支給されるまでの間のつなぎ資金として、無利子、無担保、無保証にて、100万円を上限に、緊急資金として一時的に貸付（受付期間4月～3月）		貸付件数	12件	貸付額	10,500千円					
緊急事態宣言の影響により売上が減少した市内の宿泊事業者（前年同月比30%以上の売上減少）の事業活動の継続及び雇用の維持を支援		交付件数		125件	交付額	50,400千円	成果・課題						
○事業所等感染症対策緊急支援補助金		20,090千円	○国の支援策の対象とならない事業者に対し、市独自の支援を行うことで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者を、広く支援することができた。										
市内事業所において、新型コロナウイルス感染症拡大を防止し、事業活動を継続できるよう感染症対策の取組を支援（受付期間6月～3月）		交付件数		256件	交付額	20,090千円		○長期化しているコロナ禍の影響や国際情勢などにより、原油価格の高騰や資材供給の停滞等、市内事業所の経営には引き続き不安要素が大きいことから、今後も様々な角度から継続的な支援策を検討する必要がある。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部					
	項	01 商工費							7,948千円	22,800千円	14,852千円	34.8 %	
	目	02 商工振興費											(参考)当初予算額
	事業	14 商工業緊急支援事業(繰越)											
課	商工振興課	5,000千円											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金										
目的	令和3年1月14日から同年2月28日までの間に発出された緊急事態宣言に基づく緊急事態措置及び同年3月1日から7日までの間の営業時短要請に対し、京都府が支給する協力金を府及び市町村で分担するもの。		主な財源										
主要な事務・事業の概要	○京都府緊急事態措置協力金市町村負担金 7,948千円			【協力金概要】									
	【負担金根拠】			<ul style="list-style-type: none"> <li>対象：要請に応じて時短に協力した次の施設を運営する事業者 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 飲食店、喫茶店等(テイクアウトのみの店舗は除く)</li> <li>(2) 遊興施設(バー、カラオケ等で飲食店営業許可を受けている店舗)</li> </ul> </li> </ul>									
		3期 1/14~2/7	4期 2/8~2/28	5期前半 3/1~3/7	要請期間	令和3年1月14日(木) ~2月28日(日)	令和3年3月1日(月) ~3月7日(日)						
	府が協力金支給に要した委託費等経費①	116,454千円	178,493千円	93,243千円	要請内容	営業時間を5時~20時とする (酒類提供は11時~19時)	営業時間を5時~21時とする (酒類提供は11時~20時)						
	京都市内のみを対象とする経費②	0千円	2,114千円	0千円	協力金	1施設(店舗)1日当たり6万円	1施設(店舗)1日当たり4万円						
	京丹後市内に所在する支給店舗数③	325件	307件	240件									
京都府全体の支給店舗数④	14,835件	14,561件	13,333件										
京丹後市負担金 (①-②)×③/④	2,551千円	3,719千円	1,678千円	成果・課題	京都府が実施した給付金事業について事務費等を負担することで、要請に協力した市内店舗への支給がスムーズに行われた。								

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							61,382千円	61,396千円	14千円	99.9%
	目	02 商工振興費										(参考)当初予算額
	事業	15 地域消費喚起事業										66,900千円
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		61,000千円					
目的	市民全員に1人当たり1,000円分(500円×2枚)のクーポン券を配付することにより、新型コロナウイルス感染症の影響により依然厳しい状況が続いている市内事業者への支援や市民の生活支援を行う。		主な財源									
主要な事務・事業の概要	○第2回「みんなでささえ愛クーポン券」発行事業 61,382千円 ・印刷製本費(クーポン券、封筒、チラシ、ステッカー) 634千円 ・通信運搬費(ゆうパック) 11,411千円 ・新聞折込手数料 59千円 ・クーポン券補助金 49,145千円 ・消耗品費(コピー用紙等) 133千円  【利用期間】 7月15日～9月30日 【配付枚数】 106,376枚(53,188人)※基準日6月1日 【登録事業所数】 517事業所 【利用枚数】 98,291枚(利用率:92.4%) ※1,000円以上の支払い時に1枚(500円)利用可											
	成果・課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少している市内の商店等で使用できるクーポン券を配付することで、市民の購買意欲の向上、生活の支援及び地域経済の活性化に資することができた。 ○参加店舗からも、消費が低迷している中で市内商店等での購買意欲の向上につながったといった声をいただいた。 ○発送業務を軽減し、かつ即時に付与できる仕組みについても検討していく必要がある。										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 109千円	最終予算額 129千円	不用額 20千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				84.4 %	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	課 商工振興課
	事業	50 商工振興一般経費				416千円	
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源				
目的	地域経済・産業の振興、活性化を図るための活動等に必要な経費						
主要な事務・事業の概要	○出張旅費（職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料等）		77千円				
	○事務費等（新聞購読料）		32千円				
			成果・課題	商工振興に関する事務事業等を円滑に行うことができた。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部					
	項	01 商工費							9,514千円	10,406千円	892千円	91.4%	
	目	03 繊維産業振興費											(参考)当初予算額
	事業	01 産地振興事業											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補	地方創生推進交付金(1/2)			1,603千円						
目的	丹後織物工業組合が実施する産地のかせぐ力の拡大及び人材育成の両軸を担う「TANGO OPEN CENTER」事業を支援し、販路開拓及び技術継承・人材育成の推進を図る。また、実態調査により正確な産地状況の把握及び今後の施策立案に資する分析を行う。			主な財源									
主要な事務・事業の概要	○京丹後市織物産地振興事業費補助金 3,206千円 産地の稼ぐ力の拡大、産地を支える人材育成に資するため、丹後織物工業組合が実施するTANGO OPEN CENTER事業を、京都府及び与謝野町と協調して支援 【総事業費】16,623千円 【負担割合】京都府 5/10、丹後織物工業組合 2/10、京丹後市・与謝野町 3/10		○京丹後市織物新分野展開促進事業補助金 3,056千円 新たな市場開拓を図るため、丹後織物工業組合における新加工技術による需要獲得に資する設備導入経費を京都府及び与謝野町と協調して支援 【総事業費】47,190千円 【負担割合】京都府 1/9、丹後織物工業組合 1/9、京丹後市・与謝野町 1/9		○全国和装産地市町村協議会負担金(会員数:15団体) 10千円 【主な事業】日本のそめおり展への出品(7/27~8/29:京都市) ※総会等は新型コロナウイルス感染症の影響により中止								
	○丹後織物工業組合創立100周年記念事業補助金 321千円 前身の「丹後縮緬同業組合」設立から100周年を迎える丹後織物工業組合が行った記念事業を、京都府及び与謝野町と協調して支援 【総事業費】3,873千円 【負担割合】京都府 2/5、丹後織物工業組合 2/5、京丹後市・与謝野町 1/5		○京丹後ちりめん祭補助金 1,136千円 【開催日】11月3日 【総事業費】1,953千円		○産学連携共同研究事業 721千円 女子美術大学が生地生産者と連携して、ちりめんの余剰在庫、廃棄生地に付加価値を与え、新市場開拓につなげる方法を考察しながら制作した作品を展示会に出品 ・委託料(展示商談会出展料、展示備品什器等) 580千円 ・費用弁償 141千円								
○森田翁顕彰会負担金 50千円 森田翁慰霊祭(11月2日)の開催				○京丹後市織物実態統計調査〔基準日:6月1日、対象:760件〕 906千円 ・調査員謝金(47人) 131千円 ・消耗品、印刷製本費、通信運搬費 143千円 ・会計年度任用職員任用経費(事務補助員1人) 632千円									
				○職員旅費 108千円									
				成果・課題 ○TANGO OPEN CENTER事業による、都市部での展示会、見本市への出展、オンラインでの商談会実施など、丹後産地をアピールすることができた。 ○統計調査の実施により市内織物業者の経営実態など、今後の施策の検討・立案に必要な基礎資料を得ることができた。 ○「稼ぐ産地」を目指すために、新分野展開や販路開拓、人材育成等を引き続き支援するとともに、後継者問題や道具・部品調達の難化等の課題に対する支援も検討していく必要がある。									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							17,954千円	18,206千円	252千円	98.6 %
	目	03 繊維産業振興費										(参考)当初予算額
	事業	02 新シルク産業創造事業										23,531千円
課	商工振興課											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補	地方創生推進交付金(1/2)			8,262千円				
				諸収入	新シルク産業創造館電気代等負担金				319千円			
目的	京都工芸繊維大学との連携の下に取り組んできた無菌周年養蚕や、遺伝子組換え蚕の試験飼育等に係る基礎研究の成果を事業化へ繋げるため、「京丹後市新シルク産業創造館」における事業運営を行う。											
主要な事務・事業の概要	<p>新シルク産業創造館（旧溝谷小学校校舎）において、令和2年度まで本市が京都工芸繊維大学と連携し確立させた無菌周年養蚕の手法を活用し、新たな産業の創出に向けたビジネスモデルの構築を目指すこと及び当施設、設備の維持管理に関する業務を委託して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新シルク産業創造館運営経費（4月～7月） 4,525千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計年度任用職員任用経費（蚕飼育技術指導員1人） 701千円</li> <li>・養蚕関連資材類（人工飼料、蚕種、薬剤類等） 194千円</li> <li>・光熱水費 3,629千円</li> <li>・水道閉栓手数料 1千円</li> </ul> </li> <li>○新シルク産業創造館運営経費（8月～） 9,100千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理関連業務委託料 9,100千円</li> </ul> </li> <li>○新シルク産業創造館維持管理費 3,872千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設機械警備業務 79千円</li> <li>・電気設備保安管理業務 359千円</li> <li>・消防設備保守点検業務 50千円</li> <li>・施設維持補修、修繕費 3,280千円</li> <li>・電話代 74千円</li> <li>・火災保険 30千円</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○新シルク産業創造事業協議に係る謝金（1人） 24千円</li> <li>○公募型プロポーザル審査会経費 112千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・審査会アドバイザー謝金（2人） 43千円</li> <li>・審査会アドバイザー費用弁償 69千円</li> </ul> </li> <li>○その他経費 321千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出張旅費 62千円</li> <li>・有料道路使用料 4千円</li> <li>・公用車関連経費（車検費用、燃料費等） 255千円</li> </ul> </li> </ul>								
	成果・課題	<p>○これまで新シルク産業創造館で確立させてきた無菌周年養蚕の手法を用いた事業化を行う事業者を、公募型プロポーザルで決定し運営業務（5年間）を委託した。</p> <p>○養蚕事業において、委託事業者による仕様を超える期間内176,000頭の飼育を達成するなど、事業化に向けた取組を進めることができた。</p> <p>○収穫した繭を活用した事業を、具体化し進めていく必要がある。</p>										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部										
	項	01 商工費							4,494千円	5,362千円	868千円	83.8 %						
	目	04 商工施設費										(参考)当初予算額						
	事業	01 峰山織物センター管理運営事業										4,966千円	課	商工振興課				
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		使用料	公有財産使用料	138千円													
目的	峰山織物センターを管理運営することで、織物業の振興及び住民の福祉の増進を図る。		主な財源	使用料	峰山織物センター使用料	52千円												
				諸収入	公衆電話料	1千円												
主要な事務・事業の概要	○管理運営経費		4,494千円		○延べ利用人数				4,379人（延べ利用件数：358件）									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料、光熱水費（ガス代、電気代、上下水道使用料） 1,070千円</li> <li>消耗品費、印刷製本費 32千円</li> <li>修繕料（屋根修繕、ドアノブ修繕） 588千円</li> <li>通信運搬費（電話使用料） 49千円</li> <li>日直代行業務委託料 719千円</li> <li>機械警備委託料、消防設備点検委託料等 87千円</li> <li>床（1階麦わら職員室内）改修工事設計委託料 297千円</li> <li>床（1階麦わら職員室内）改修工事 1,012千円</li> <li>小会議室エアコン改修工事 300千円</li> <li>駐車場借上料 306千円</li> <li>消火器購入（リサイクル料含む） 9千円</li> <li>その他維持管理経費（火災保険料、テレビ受信料等） 25千円</li> </ul>		【利用目的別利用件数】 (単位：件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議</th> <th>研修</th> <th>教室</th> <th>サークル活動</th> <th>スポーツ・レクリエーション</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47</td> <td>17</td> <td>111</td> <td>183</td> <td>0</td> <td>358</td> </tr> </tbody> </table>				会議	研修	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	合計	47	17	111	183	0	358
	会議	研修	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	合計												
	47	17	111	183	0	358												
				【部屋別利用件数】 (単位：件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>大会議室</th> <th>小会議室</th> <th>教養室</th> <th>第1・2研修室</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>186</td> <td>44</td> <td>8</td> <td>120</td> <td>358</td> </tr> </tbody> </table>				大会議室	小会議室	教養室	第1・2研修室	合計	186	44	8	120	358	
大会議室	小会議室	教養室	第1・2研修室	合計														
186	44	8	120	358														
				成果・課題	○職業訓練、教室・サークル活動を行う施設として多くの利用があり、活動拠点として各種活動の推進に寄与した。 ○施設の老朽化が進んでおり、今後、計画的に修繕等を行っていく必要がある。													

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							4,967千円	8,834千円	3,867千円	(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	04 商工施設費												
	事業	02 商工等指定管理施設運営事業												
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	使用料	公有財産使用料	80千円								
目的	市内の商工関連公共用施設の適正な管理運営を行い、施設利用者の利便性の向上及び商工業の振興を図る。			諸収入	大宮織物ホール電気料	201千円								
			諸収入	大宮織物ホール光熱水費負担金	100千円									
				市債	商工施設整備事業債	200千円								
主要な事務・事業の概要	大宮織物ホール及び弥栄機業センターの各施設について、京丹後市商工会を指定管理者として管理運営を行った。			参考		繰越明許費を除いた最終予算額	4,991千円							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大宮織物ホール（大宮町周積） 4,940千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度利用者数：1,797人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理委託料 3,120千円</li> <li>・トイレ改修工事設計委託料 299千円</li> <li>・駐車場漏水工事 264千円</li> <li>・火災保険料 10千円</li> <li>・土地借上料（建物及び駐車場用地） 1,247千円</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○弥栄機業センター（弥栄町和田野） 27千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度利用者数：1,189人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理委託料 23千円</li> <li>・火災保険料 4千円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>■令和4年度への繰越事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大宮織物ホールトイレ改修工事設計委託料 3,843千円 令和5年2月完了予定</li> </ul> </li> </ul>										
				成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内商工関連公共用施設の管理運営を指定管理者として京丹後市商工会が行うことで、施設利用者の各種活動の推進に寄与した。</li> <li>○施設の老朽化が進んでおり、今後、計画的に修繕等を行っていく必要がある。</li> </ul>									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							1,233千円	1,354千円	121千円	91.0%
	目	04 商工施設費										(参考)当初予算額
	事業	50 商工施設一般経費										1,185千円
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	諸収入	旧丹後商業活性化センター火災保険料負担金	44千円						
目的	商工業の振興に資する商工関連施設の維持管理を行う。			諸収入	旧三津小学校火災保険料企業負担金	28千円						
主要な事務・事業の概要			諸収入	弥栄機業センター光熱水費負担金	6千円							
主要な事務・事業の概要	○商工施設維持管理経費 ◆光熱水費 7千円 ・御旅市場商店街駐車場外灯電気代(旧小谷医院跡地) 6千円 ・あしぎぬ苑 水道料 1千円 ◆修繕料 268千円 ・京都工芸繊維大学京丹後キャンパス浄化槽修繕料 265千円 ・旧丹後商業活性化センター正面玄関照明器具修繕料 3千円 ◆委託料 866千円 ・旧丹後商業活性化センター裏公衆トイレ管理委託料 462千円 ・旧三津小学校グラウンド管理業務(草刈り、整地等) 352千円 ・あしぎぬ苑清掃作業委託業務料 52千円 ◆建物災害共済保険料 76千円 ・旧三津小学校 29千円 ・旧丹後商業活性化センター 47千円		◆その他 16千円 ・弥栄機業センター(指定管理部分除く)電気代等負担金 6千円 ・あしぎぬ苑水道閉開栓手数料 2千円 ・持込ごみ処理手数料 8千円									
			成果・課題	○商工業、織物業の振興を目的とした商工関連施設を適切に管理することができた。 ○いずれの施設も老朽化が進んでおり、今後、計画的に修繕等を行っていく必要がある。								

予算科目	款	07 商工費	1,997千円	最終予算額 2,173千円	不用額 176千円	執行率 91.9 % (参考)当初予算額 2,590千円	部 商工観光部
	項	01 商工費					
	目	05 観光振興費					
	事業	01 “旬”でもてなす食の観光推進事業					
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（観光産業活性化事業） 900千円			
目的	本市の強みである“食の魅力”に磨きをかけ、質の高い「食文化」と「もてなし」を観光客等に提供することで、豊富で多彩な「旬の食を活かした滞在型観光（フードツーリズム）」を推進し、地域の雇用と経済の活性化を図る。						
主要な事務・事業の概要	○たんちよす普及事業（たんちよす月間） 949千円 ・京丹後たんちよす普及事業補助金 949千円  京丹後の旬の食材をメインに使い、市内料理人等が創作した手軽に楽しめる1品料理（たんちよす）を普及する取組を支援。10月17日（日）から11月7日（日）までを「たんちよす月間」とし、市内8店舗の飲食店でたんちよすが提供された。（イベント：4回）		○フルーツトレイル広報事業 220千円 フルーツトレイル実施期間：7月～10月 ・FM京都（αステーション）広告（2回） 220千円  ○京丹後ガストロノミカ開催事業 579千円 第1部：参加型シンポジウム ～さまざまな角度から京丹後の食を共創する～（パネルディスカッション・ワークショップ） 料理人・生産者を中心に179人が参加（会場26人、オンライン153人） 第2部：調理講義、ディスカッション「TANGO CHEF'S KITCHEN」 料理人・生産者を中心に30人が参加（会場30人） [開催日時・場所] 令和3年10月25日・丹後王国「食のみやこ」  ・講師等謝金（12人） 250千円 ・チラシ作成、動画配信、会場借上等 308千円 ・消耗品 21千円				
	○Rico Labo開催支援経費 60千円 料理人、生産者、加工業者などが集い、食材、技術を学んだり事業者間の交流を促進する場として、「Rico Labo」の開催を支援した。 [参加者数] 13人 令和3年11月30日（火）  ・講師謝金（1人） 40千円 ・会場使用料 20千円		○「旬の京丹後」啓発・普及事業（旬の京丹後啓発看板設置） 189千円 ・看板製作費（大宮町周枳 1か所、久美浜町（一区） 1か所） 176千円 ・土地借上料 13千円				
成果・課題	○たんちよす、RicoLabo事業、ガストロノミカなどの取り組みを行うことで「食のまち」の機運醸成につなげることができた。 ○継続的に事業の企画・実施ができる運営体制づくりが必要である。						



予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							6,626千円	6,658千円	32千円	99.5 %
	目	05 観光振興費										(参考)当初予算額
	事業	03 滞在型観光地づくり推進事業										46,964千円
課	観光振興課											
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	国補	新型ｺﾓﾝｲﾝﾌﾙｴﾝｽﾞ感染症対応地方創生臨時交付金	3,000千円						
				繰入金	新型ｺﾓﾝｲﾝﾌﾙｴﾝｽﾞ感染症支え合い基金繰入金	2,500千円						
目的	地域経済への波及、交流人口の拡大等に寄与する各種大会等（各種会議、スポーツ大会、イベント等）を主催する団体に対して補助金を交付することにより、宿泊客等を誘致する。また、宿泊事業者、飲食事業者及び関連事業者の連携による市域観光地の付加価値づくりを支援し、滞在型観光地づくりを推進する。											
主要な事務・事業の概要	○観光業等活性化推進事業補助金		640千円									
	・交付件数：6件（240千円×1件、80千円×5件）											
	○京丹後市観光地域づくりチャレンジ支援事業補助金		5,894千円									
	・交付件数：10件（延べ連携事業者数：71者）											
	京丹後情報発信事業、アートプロジェクト事業、旅育事業 海岸清掃プロジェクト事業、レストランメニュー開発事業 新商品（ヨーグルト酒、せんべい、クラフトコーラ）開発事業 など											
○全国道の駅連絡会会費		20千円										
○近畿道の駅連絡会会費		27千円										
○国民保養温泉地協議会負担金		45千円										
成果・課題						○観光業等活性化推進事業については、コロナ禍による大会中止が続き、例年15件程度の交付実績が6件にとどまった（R2年度は3件）。 ○京丹後市観光地域づくりチャレンジ支援事業補助金について、市内事業者延べ71者が連携し、新商品・新メニュー開発等や、観光客の誘客に向けた取組（京丹後PR動画の作成、イベントの実施等）を支援できた。一方で、申請件数が10件にとどまったことを踏まえ、制度の検討が必要である。						

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							2,236千円	2,255千円	19千円	99.1 %
	目	05 観光振興費										(参考)当初予算額
	事業	04 日本一の砂浜海岸づくり推進事業										4,484千円
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源									
目的	山陰海岸ユネスコ世界ジオパークを構成する京丹後の美しい砂浜海岸を保全し、一年を通じてにぎわう日本一の砂浜海岸づくりを推進する。											
主要な事務・事業の概要	○砂浜海岸の保全事業 1,561千円 ・海水浴場清掃美化業務委託（冬季） 1,561千円 琴引浜、久僧海岸、浜詰海岸、竹野海岸、浅茂川海岸、後ヶ浜海岸 袖志海岸、小浜海岸、上野平海岸											
	○砂浜海岸の活用事業 330千円 ・遊歩道堆積砂撤去委託料（委託先：小天橋観光協会） 330千円 小天橋箱石海岸遊歩道に堆積する砂及び雑草等の除去											
○ビーチ斉クリーン作戦（葛野海岸） 345千円 ・消耗品（トン土嚢袋、受付テーブル等） 345千円 開催日時：10/24（日） 9：00～11：00 開催場所：葛野海岸 参加者数：101人												
			成果・課題		○砂浜海岸の保全のため、地元区等が実施する海岸清掃を支援したほか、小天橋遊歩道の維持管理を行った。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、10月の開催となったが、ビーチ斉クリーン作戦が実施できたことにより、市民等に対して美しい砂浜海岸の価値の再認識と、保全に向けた啓発ができた。 ○天候により開催の可否が伴うビーチ斉クリーン作戦については、フレキシブルな開催が出来るよう実施日・方法・告知方法など検討していく必要がある。							

予算科目	款	07 商工費		本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費								25,204千円	35,204千円	10,000千円	71.5%
	目	05 観光振興費											(参考)当初予算額
	事業	05 イバウト・宿泊促進強化事業											30,000千円
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進			主な財源	繰入金 観光イバウト整備等促進実行調整費基金繰入金 25,204千円								
目的	入湯税相当額を原資とした観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し、市内の法人等が実施する観光の魅力づくりに寄与するインフラ整備事業に補助金を交付し、本市の自然や温泉等を活かした魅力ある観光地づくりを推進する。												
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進事業補助金 25,204千円 (単位：千円)				誘客サイン整備等事業	14	夕日ヶ浦観光協会/浜詰地域案内看板設置工事	262	119				
					その他事業	15	北畿ファーム(株)/花郷-OKADA観光公園整備事業	6,763	3,073				
					計(16件)			55,052	25,204				
	事業区分	No	事業名	事業費	補助金								
	温泉源・配湯施設改修等事業	1	長者の湯/水中ポンプ等取替工事	3,267	1,485								
		2	上野温泉/予備ポンプ購入事業	853	697								
		3	夕日ヶ浦温泉/温泉管改修工事	16,416	3,680								
		4	浅茂川浦島温泉/送湯ポンプ取替工事	627	513								
		5	夕日ヶ浦温泉/水中ポンプ等取替工事	3,740	3,060								
		6	浜詰温泉/配管整備工事	481	393								
		7	丹後神野温泉/源泉ケーシング改修工事	13,860	5,000								
		8	久美浜カンツリー温泉/泉源ポンプ取替工事	1,914	1,566								
		9	小天橋温泉/配湯管改修工事	567	464								
10		夕日ヶ浦温泉/水位計等取替工事	1,957	1,601									
11		鳴き砂温泉/送水ポンプ等取替工事	3,830	3,133									
12		木津温泉/配湯管整備工事	234	191									
砂浜清掃用機械購入等事業	13	掛津区/海岸清掃用機械修繕事業	281	229									
					参考	繰越明許費を除いた最終予算額		25,204千円					
							実質的な予算執行率		100.0%				
					■令和4年度への繰越事業 10,000千円 ・株式会社アウルコーポレーション/水辺のホテル小さな白い花ヴィラ棟新設工事 令和4年9月完了予定 10,000千円								
					成果・課題	○温泉源の維持管理や宿泊温泉施設の機能向上等、民間事業者等が行う設備投資をタイムリーに支援することができた。 ○引き続き、観光インフラ整備等促進実行調整費基金を適正に管理・運用し、引き続き、民間の設備投資を積極的に支援することで、魅力ある観光地づくりを進めていく必要がある。							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部					
	項	01 商工費							40,216千円	40,216千円	0千円	100.0 %	
	目	05 観光振興費											(参考)当初予算額
	事業	06 観光インフラ整備等促進実行調整費基金											
課	観光振興課												
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	財産収入 観光インフラ整備等促進実行調整費基金利子収入		51千円									
目的	観光地として魅力ある環境整備を推進することを目的とした観光インフラ整備等促進実行調整費基金への積立金。		主な財源										
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金		40,165千円										
	令和2年度入湯税収入相当額		37,130,998円										
	令和元年度繰越残額（「浜詰 夕日の丘計画」分）		3,034,000円										
	令和元年度繰越特定財源		7,597,000円										
— 令和元年度繰越決算額		4,563,000円											
		3,034,000円											
○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金（利子分）		51千円											
(参考) 基金の状況		(単位：千円)											
令和2年度末 現在高	令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高									
①	繰入金	運用利子	積立金	①-②+(③+④)									
②	③	④											
117,987	35,204	51	40,165	122,999									
				成果・課題									

予算科目	款	07 商工費				本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費				20,119千円	21,808千円	1,689千円	92.2 %								
	目	05 観光振興費							(参考)当初予算額	課	観光振興課						
	事業	07 海水浴場連絡員配置等支援事業							10,218千円								
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進					国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			9,000千円							
						府補	きょうと地域連携交付金（海水浴場安心・安全環境づくり推進事業）			4,000千円							
目的	「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」及び「海水浴場における新型コロナウイルス感染症の感染予防対策ガイドライン」を遵守して開設する海水浴場開設者に、開催経費を支援することで、海水浴を通じた夏季の誘客を促進する。					主な財源											
主要な事務・事業の概要	①海水浴場開設者支援事業補助金 9,913千円						○報償費（水難救助船運航謝金（葛野浜、小天橋）） 10千円 ○需用費（看板修繕、海水浴場開設及びコロナ対策消耗品購入） 696千円 ○役務費（火災保険料） 30千円 ○委託料（水難啓発救助委託料） 80千円 ○使用料及び借上料（後ヶ浜海水浴場仮設トイレ借り上げ） 44千円 ○備品購入費（トランシーバー2台、ハンドマイク5台、AED1台） 299千円  <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>21,176千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>95.0%</td> </tr> </table> ■令和4年度への繰越事業 632千円 ・京丹後市海水浴場駐車場混雑情報配信システム構築業務委託 令和4年4月完了 632千円					参考	繰越明許費を除いた最終予算額	21,176千円		実質的な予算執行率	95.0%
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	21,176千円														
		実質的な予算執行率	95.0%														
	②新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策支援補助金 9,047千円（千円）																
	開設者	海水浴場名	事業費①	補助金①	事業費②	補助金②											
	蒲井区	蒲井浜	639	588	404	404											
	小天橋観光協会	小天橋・葛野	2,901	2,287	1,641	1,641											
		箱石浜			437	437											
	浜詰区	浜詰夕日ヶ浦	1,361	1,159	568	568											
	網野スポーツクラブ	八丁浜	811	659	814	812											
	小浜観光協会	小浜	574	548	524	500											
	掛津区	琴引浜掛津	622	596	825	815											
	遊区	琴引浜遊	未開設		54	54											
	砂方区	砂方	762	645	920	816											
	(株)てんきてんき村	立岩・後ヶ浜	1,509	1,234	468	385											
	竹野区	竹野	637	601	1,157	798											
	平区	平	未開設		67	67											
	上野区	高嶋	672	600	898	818											
久僧区	久僧	389	372	167	167												
中浜区	中浜	678	624	788	765												
計		11,555	9,913	9,732	9,047												
成果・課題						○府条例に基づく連絡員の配置等水難事故抑止に資する体制を支援し、また海水浴場における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策ガイドラインに基づき、感染拡大防止対策費用の一部を支援することで、安全・安心な海水浴場を開設し、夏季の観光推進の基礎とすることができた。 ○非開設海岸（2か所）の海岸パトロール員配置を支援し、浜辺周辺の秩序を保ち、衛生環境の確保及び周辺住民の感染防止に資することができた。 ○他地域の安全対策の事例を参考に、より安全・安心な海水浴場にしていく必要がある。											

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 1,806千円	最終予算額 1,912千円	不用額 106千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				94.4 %	
	目	05 観光振興費				(参考)当初予算額	
	事業	08 観光プロモーション推進事業				5,211千円	
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		国補 地方創生推進交付金(1/2)	140千円			
目的	各種広報媒体の活用やイベントでのキャンペーン、広域観光団体との連携によるPR活動の展開等により、観光資源、観光情報を発信し、観光客誘致の促進を図る。				主な財源		
主要な事務・事業の概要	○誘客イベント等情報発信及び広告掲載等経費 286千円 ・FM京都(αステーション)広告(イベント告知:2回) 220千円 海水浴場開設情報×1回、活イカ情報×1回 ・わおマップ 広告掲載料 60千円 ・JAF観光登録システム利用料 6千円  ○観光宣伝活動等事務経費 119千円 ・旅費、有料道路通行料等 24千円 ・キャンペーン景品、観光宣伝物品等 95千円  ○広域観光団体負担金 1,370千円 ・(一社)豊岡観光イノベーション(豊岡DMO) 300千円 ・(公社)京都府観光連盟 390千円 ・北近畿広域観光連盟 580千円 ・(特非)ジャパン・フィルムコミッション 100千円			○「ミニポートピア京丹後6周年記念競走」副賞経費【政策企画課】 31千円 ・優勝カップ、丹後コシヒカリ米 ※新型コロナウイルス感染症の影響により物産展は中止			
	成果・課題	○FM京都(αステーション)で、令和3年度から運用を開始した海水浴場駐車場混雑情報システムの案内と、活イカに関する放送を行い、システムの利用促進と誘客に向けたPRを実施することができた。 ○今もなお、コロナ禍が続くことを踏まえ、ウィズ・アフターコロナを見据えたプロモーションに取り組む必要がある。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							87,787千円	89,437千円	1,650千円	98.1 %
	目	05 観光振興費										(参考)当初予算額
	事業	09 地域総ぐるみ観光地づくり事業										92,579千円
課	観光振興課											
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	国補	地方創生推進交付金(1/2)			7,385千円				
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				40,000千円			
目的	「京都府北部地域連携都市圏振興社」に参画するとともに、同京丹後地域本部(京丹後市観光公社)の活動を支援することで、魅力ある観光地づくりを推進する。また、京丹後市観光立市推進会議を開催し、第3次京丹後市観光振興計画の進捗状況の検証等を行う。											
主要な事務・事業の概要	○京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)運営負担金		15,259千円	○地域おこし企業人交流プログラム受入事業負担金					20,000千円			
	府と北部7市町等で構成する海の京都DMOの運営に関する経費を負担し、「安全安心な海の京都」の実現に向けた感染予防と両立した誘客の促進や、訪問者ニーズの把握と効果的な情報発信による海の京都ファンの拡大、また文化観光等の推進と訪日旅行の需要回復を見据えたインバウンド対策に取り組んだ。		総務省「地域おこし企業人交流プログラム」事業を活用し、観光に関する専門的なノウハウや知見を有する大手旅行会社の社員を受け入れた。									
	○京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部(京丹後市観光公社)補助金		47,931千円	・受入人数・期間								
				令和4年2月1日～令和5年3月31日(予定)(1人・(株)JTB)								
				令和3年2月1日～令和6年1月31日(予定)(1人・(株)ANA総合研究所)								
				・配置部署:商工観光部観光振興課[勤務場所:京丹後市観光公社]								
				・活動内容:ヘルスツーリズム、安全安心ブランドツーリズム等造成等								
	○京丹後市観光立市推進会議		18千円	○国際交流員(CIR)任用経費(1人)					4,517千円			
	・委員報酬(委員24人)全体会議1回(令和4年2月22日)		62千円	京丹後市観光公社へ派遣(予定:R元年8月から5年間を予定)								
	・費用弁償		18千円	報酬、社会保険料、賃貸住宅更新料等					4,403千円			
			一般財団法人自治体国際化協会負担金					114千円				
			○インターネットやSNS等を活用したデジタルプロモーションの実践と、Web広告の配信状況の分析、サイト改善や広告配信により認知度向上を図った。(1,900,248PV[R2]→2,327,528PV[R3])									
			○「地域おこし企業人交流プログラム事業」の活用により、民間企業の専門人材を観光公社に派遣し、ヘルスツーリズム認証プログラムを(株)JTB発行のパンフレット等に掲載したほか、自然体験を加えた新たなツアーの商品化にも取り組み、ANAも誘客キャンペーン事業や首都圏のPRを実施した。									
			○市域全体での観光プロモーションが進むよう、観光公社会員の増加と異業種間連携の促進に繋がる仕組みづくり等、さらに推進する必要がある。									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							29,988千円	33,460千円	3,472千円	89.6 %
	目	05 観光振興費										(参考)繰越予算額
	事業	09 地域総ぐるみ観光地づくり事業(繰越)										33,460千円
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	10,000千円							
目的	「京都府北部地域連携都市圏振興社」に参画するとともに、同京丹後地域本部(京丹後市観光公社)の活動を支援することで、魅力的な観光地づくりを推進する。					主な財源						
主要な事務・事業の概要	<p>○京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部(京丹後市観光公社)補助金 17,588千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京丹後ふるさと旅行券キャンペーン事業費 3,288千円 対象期間：令和2年11月6日～令和3年11月30日 参加施設：112施設 販売枚数：10,000枚(5,000円の旅行券を2,500円で販売) 利用枚数：9,794枚(令和3年度分1,371枚) 宿泊者数：1,631組、5,390人(令和3年度271組、869人)</li> <li>マイクロツーリズム・プロモーション事業費 14,300千円 春、夏、秋、冬の観光誘客プロモーション実施</li> <li>①近畿エリア「快速電車」窓上ポスター 2,250枚</li> <li>②いちご狩り体験動画制作</li> <li>③感染予防対策を呼び掛けるピクトグラム作成</li> <li>④情報誌掲載(京都市内)約490,000部</li> <li>⑤JR西日本J・ADビジョンでの動画配信(関西主要7駅)掲載面数214面など</li> </ul>			<p>○京丹後市安全で安心な観光とふるさと創生事業費補助金 12,400千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ANA秋の誘客キャンペーン事業(航空機で訪れ、レンタカーで周遊する旅) 対象期間：令和3年8月18日～11月30日 参加宿泊施設：27施設 利用者数：13件25名 マイレージ会員(約500万人)向け「ANAメールマガジン」による情報配信 デジタル広告の配信・交通広告(東急電鉄車内)を掲出(2,300万人が視聴)</li> <li>ダイナミックパッケージキャンペーンツアー等実施、関連商品販売促進</li> <li>①ANAトラベラーズ「日本を旅しよう」プラン掲載</li> <li>②ANAトラベラーズ「日本を旅しよう」顧客モニターツアー(4組/8名)</li> <li>③まるっぽおまかせ!「海の京都」京丹後キャンペーン(50名)</li> <li>④ANAのWebサイト内に総合プラットフォーム開設</li> <li>※誘客実績 353人(うち航空機利用105人)</li> </ul>								
	成果・課題	<p>○マイクロツーリズムプロモーション事業では、観光公社Webサイト内に本市の魅力を訴求するページを制作し、Web広告を発信(京阪神を中心に約150万人)するなど、認知拡大と誘客を図ることができた。</p> <p>○コロナ禍の中、秋の誘客キャンペーンは計画どおりには販促活動ができない側面もあったが、首都圏への認知度拡大を目指した広告展開が図れた。</p> <p>○ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、インバウンド向けの販促・誘客を進めていく必要がある。</p>										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																																					
	項	01 商工費							12,463千円	12,467千円	4千円	(参考)当初予算額	課	観光振興課																															
	目	05 観光振興費																																											
	事業	10 滞在型観光魅力づくり実証研究事業																																											
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		国補	新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金			12,000千円																																						
目的	アフターコロナの誘客コンテンツとして、また、春季の新たな集客資源として、流通困難な白イカの「活イカ」流通を目指し、漁業者、観光事業者、市観光公社等と市が連携し、実証事業を行う。			主な財源																																									
主要な事務・事業の概要	○活イカ流通実証事業 ・委託料 7,731千円 【所管：観光振興課】 中間保管施設運営管理業務（㈱テンキテンキ村） 2,212千円 啓発等業務 2,570千円 （（一社）京都府北部地域連携都市圏振興社 京丹後地域本部） 【所管：海業水産課】 保管調整等業務（京都府漁業協同組合） 1,949千円 市内運搬等業務（北丹水産物商業協同組合） 1,000千円 ・工事請負費【所管：観光振興課】 111千円 動力等工事（道の駅てんきてんき丹後内） 111千円 ・備品購入【所管：海業水産課】 4,621千円 酸素注入パック機械 2個 4,621千円 （漁協分 1個、道の駅てんきてんき丹後分 1個）				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実</th> <th colspan="2">績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">実施期間</td> <td colspan="2">R3.6/3~7/15（43日間）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">取扱（販売）事業者</td> <td colspan="2">33者（宿泊事業者 28者、飲食店 5者）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">期間中漁獲量</td> <td colspan="2">2,843匹（うち114匹（4%）死滅）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市外流通量</td> <td colspan="2">2,124匹（77.8%）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市内流通量</td> <td colspan="2">605匹（22.2%） 実証事業分（中）532匹、事業外（小・大）73匹</td> </tr> <tr> <td colspan="2">うち市内旅館等分</td> <td colspan="2">267匹</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">うち道の駅てんきてんき丹後分</td> <td>販売分</td> <td colspan="2">83匹</td> </tr> <tr> <td>調理分</td> <td colspan="2">86匹</td> </tr> <tr> <td>死滅分</td> <td colspan="2">169匹</td> </tr> </tbody> </table>				実		績		実施期間		R3.6/3~7/15（43日間）		取扱（販売）事業者		33者（宿泊事業者 28者、飲食店 5者）		期間中漁獲量		2,843匹（うち114匹（4%）死滅）		市外流通量		2,124匹（77.8%）		市内流通量		605匹（22.2%） 実証事業分（中）532匹、事業外（小・大）73匹		うち市内旅館等分		267匹		うち道の駅てんきてんき丹後分	販売分	83匹		調理分	86匹		死滅分	169匹
	実		績																																										
実施期間		R3.6/3~7/15（43日間）																																											
取扱（販売）事業者		33者（宿泊事業者 28者、飲食店 5者）																																											
期間中漁獲量		2,843匹（うち114匹（4%）死滅）																																											
市外流通量		2,124匹（77.8%）																																											
市内流通量		605匹（22.2%） 実証事業分（中）532匹、事業外（小・大）73匹																																											
うち市内旅館等分		267匹																																											
うち道の駅てんきてんき丹後分	販売分	83匹																																											
	調理分	86匹																																											
	死滅分	169匹																																											
成果・課題	○春から夏にかけての新たな集客資源として、中間保管施設を設け、漁業者、観光事業者、市観光公社等と連携し、「活イカ」を市内流通に向け、川上から川下までの事業性の検証を行うことができた。 ○酸素注入パックでの配達が可能なが確認できた。一方で、中間保管施設が流通の要であること、管理に水産知識等が求められること、地域毎に中間保管できる仕組みづくりが必要である。																																												

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							43,605千円	49,735千円	6,130千円	87.6%
	目	06 観光等施設費										(参考)当初予算額
	事業	01 海浜等施設管理事業										64,814千円
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		市債	観光施設整備事業債（過疎対策事業債）	35,200千円							
目的	海水浴場等にある観光関連施設（トイレ、休憩所等）の清掃及び修繕等維持管理を行い、海岸地域の美化と観光客等の利便性及び快適性の向上を図る。					主な財源						
主要な事務・事業の概要	○需用費 3,951千円 ・消耗品（トイレトーパー、清掃用品等） 72千円 ・光熱水費（電気料金・上下水道料金） 2,349千円 ・修繕料（シャワー修繕、トイレ修繕等） 1,530千円			○使用料及び賃借料 273千円 ・土地借上料（中浜オートキャンプ場用地） 163千円 ・仮設トイレ借上料（小浜海水浴場） 110千円								
	○役務費 834千円 ・手数料（し尿汲取手数料、浄化槽法定検査手数料等） 772千円 ・保険料（火災保険料） 62千円			○工事請負費 33,402千円 ・小浜公衆トイレ改修工事 33,402千円 （実施内容：合併浄化槽（50人槽）の設置、内外装の改修）								
○委託料 5,145千円 ・海浜施設維持管理 296千円 （トイレ、脱衣所、シャワー室、休憩所等） ・浄化槽維持管理委託料（琴引浜西トイレ） 651千円 ・海水浴場清掃美化業務委託料（海水浴場排出ごみ） 2,309千円 ・小浜公衆トイレ改修工事設計監理業務 1,889千円			成果・課題 ○海水浴場等に設置しているシャワー・トイレ、脱衣所、炊事棟等を適切に維持管理し、快適な利用環境を提供することができた。 ○安全で快適な利用環境を確保するため、緊急性の高い小浜トイレの改修工事を完了することができた。 ○全15海岸にある32ヶ所の海浜施設（トイレ等）について、順次、衛生的かつ快適化に向けた改修等が必要である。									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部														
	項	01 商工費							14,623千円	14,859千円	236千円	98.4 %										
	目	06 観光等施設費										(参考)当初予算額										
	事業	02 自然公園管理事業										14,639千円										
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		府委	国立公園・国定公園管理委託金			課	観光振興課														
目的	京都府から管理委託を受けた国立公園及び国定公園区域内にある公園施設等の適正な維持管理を行い、自然公園の環境保全及び活用を促進する。			9,186千円																		
主要な事務・事業の概要	<p>山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園にある京都府管理の自然公園施設（京都府から本市へ管理委託され、市は地元区等に再委託）の維持管理及び環境保全を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自然公園施設等管理委託料（12園地・4遊歩道） 6,657千円</li> <li>○自然公園内ごみ収集委託料（5園地） 2,555千円</li> <li>○トイレ清掃・水道施設管理委託料、バイオトイレ維持管理委託料 1,120千円</li> <li>○し尿汲取手数料（7園地） 1,685千円</li> <li>○修繕料（五色浜園地トイレ修繕、犬ヶ岬園地トイレ修繕） 114千円</li> <li>○通信運搬費（経ヶ岬園地水道施設遠方監視システム） 31千円</li> <li>○消耗品費、光熱水費（10園地） 2,283千円</li> <li>○火災保険料（五色浜園地給水装置機械室棟、丹後松島トイレ） 9千円</li> <li>○土地借上料（後ヶ浜園地トイレ用地、経ヶ岬園地駐車場用地） 160千円</li> <li>○補修用原材料費 9千円</li> </ul>			<p>【参考】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自然公園名</th> <th>町名</th> <th>園地等の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">山陰海岸国立公園</td> <td>久美浜町</td> <td>かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>浜詰、夕日ヶ浦、五色浜</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">丹後天橋立大江山国定公園</td> <td>網野町</td> <td>小浜、掛津、遊、三津</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬</td> </tr> </tbody> </table>						自然公園名	町名	園地等の名称	山陰海岸国立公園	久美浜町	かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石	網野町	浜詰、夕日ヶ浦、五色浜	丹後天橋立大江山国定公園	網野町	小浜、掛津、遊、三津	丹後町	後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬
	自然公園名	町名	園地等の名称																			
山陰海岸国立公園	久美浜町	かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石																				
	網野町	浜詰、夕日ヶ浦、五色浜																				
丹後天橋立大江山国定公園	網野町	小浜、掛津、遊、三津																				
	丹後町	後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬																				
				成果・課題	<p>○観光客に安全で快適な環境を提供するため、自然公園施設等の維持管理及び環境保全を実施した。</p> <p>○改修の必要な施設や撤去・修繕の必要な看板について、常時現状把握を行い、京都府へ早急な対応を求めていくことができた。</p> <p>○老朽化が進み、今後、維持費が多く嵩むことが想定される施設については、京都府に対し、適宜、施設の更新等を求めていく必要がある。</p>																	



予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	商工観光部
	項	01 商工費	119,178千円	119,249千円	71千円	(参考)当初予算額	99.9%					
	目	06 観光等施設費					98,411千円	課	観光振興課			
	事業	04 観光等指定管理施設大規模改修事業										
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	国補	地方創生ワーク交付金	9,150千円						
目的	観光関連の指定管理施設において、大規模な施設改修・修繕を市が行い、施設の適切な維持管理に努める。			府補	きょうと地域連携交付金（観光資源整備事業）	4,785千円						
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金	18,000千円						
				諸収入	市有建物損害共済金	10千円						
				諸収入	市有建物損害賠償金	200千円						
			市債	観光施設整備事業債（合併特例債・過疎対策事業債）	26,500千円							
主要な事務・事業の概要	○修繕料		15,887千円	○備品購入費		14,151千円						
	・浅茂川温泉静の里 洗い場修繕 他6件		2,951千円	・スイス村スノーモービル（3台）		4,182千円						
	・天女の里 除雪機修繕 他3件		593千円	・かぶと山虹の家什器等		7,435千円						
	・森林公園スイス村 圧雪車修繕 他16件		5,484千円	・除雪機 1台、冷蔵庫 4台 ほか		2,534千円						
	・宇川温泉よし野の里 サウナヒーター修繕 他2件		1,053千円	○委託料		16,014千円						
	・道の駅てんきてんき丹後 自動ドア修繕		607千円	・工事設計業務（道の駅、よし野の里、天女の里改修 ほか）		4,393千円						
	・ステーキハウス 外灯取替、はしうど荘 ボイラー		628千円	・工事設計監理業務（あしぎぬ温泉ブリッジ改修、虹の家改修）		4,400千円						
	・豪商「稲葉本家」天井、弥栄あしぎぬ温泉 ボイラー室修繕 他1件		506千円	・調査業務（静の里改修方針検討調査、あしぎぬ温泉天井調査）		6,740千円						
	・かぶと山公園・虹の家 遊具修繕 他3件		4,065千円	・委託料（雑木伐採、看板製作、産廃処理）		481千円						
	○工事請負費（設計・管理委託料含む）		72,861千円	○消耗品費		48千円						
	・浅茂川温泉静の里 エアコン改修 他3件		2,485千円	○手数料等（ごみ持込処理、備品処分、発電機借上、通信運搬）		217千円						
	・天女の里 ウッドデッキ改修		9,229千円	成果・課題	○必要な修繕等を実施することにより、公共施設を適正に保全するとともに、利用者の安全性、利便性及び快適性を確保することができた。 ○老朽化による不具合箇所の進行を早期発見し、予防措置を講じることにより損傷の拡大を防ぐ必要がある。							
	・森林公園スイス村 浴室タイル改修 他7件		7,912千円									
	・宇川温泉よし野の里 ポンプ改修 他4件		3,641千円									
	・道の駅てんきてんき丹後 エアコン改修 他1計		6,853千円									
・あしぎぬ温泉 ブリッジ改修 他10件		22,238千円										
・かぶと山虹の家 改修、公園Wi-Fi整備 他4件		14,970千円										
・ステーキハウス 浄化槽、はしうど荘、稲葉本家 空調改修 他4件		5,533千円										



予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							25,237千円	25,951千円	714千円	97.2%
	目	06 観光等施設費										(参考)当初予算額
	事業	50 観光等施設一般経費										30,601千円
課	観光振興課											
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府委	碓高原畜産展示資料館管理委託金（10/10）		740千円					
目的	市内の公園、トイレ、休憩所等の公共用施設を適切に維持管理することにより、市民、観光客等の憩いの場としての環境づくりを推進する。			諸収入	丹後温泉電力料		436千円					
				諸収入	丹後温泉源泉管理負担金		231千円					
				諸収入	公共井戸水電力費		1千円					
			諸収入	市有建物災害共済保険料負担金		16千円						
主要な事務・事業の概要	○施設管理委託料（清掃、草刈り、水質検査、機械警備等）		8,467千円		<ul style="list-style-type: none"> <li>土地借上料（ブナハウス内山用地 ほか） 798千円</li> <li>負担金（おおみや小町温泉温泉源スタンド電気料負担金） 31千円</li> <li>おおみや小町温泉源泉湯管等取替工事調査委託料 1,468千円</li> <li>おおみや小町温泉源泉湯管等取替工事 9,092千円</li> <li>その他工事請負費 260千円 （誘導看板撤去、城嶋公園街燈移設工事、コミュニティ広場獣害復旧工事）</li> <li>備品購入費（スイス村コテージ消火器） 13千円</li> </ul>							
	地域名	施設名										
	峰山地域	羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園等										
	大宮地域	平地地蔵公園、ブナハウス内山、おおみや小町温泉源等										
	網野地域	子午線塔、静の社、離湖公園、霧降の滝公園等										
	丹後地域	経ヶ岬・碓高原水道施設、碓高原畜産展示資料館等										
	久美浜地域	東山公園、城山公園、山内施設等										
	○その他の維持管理経費		16,770千円		成果・課題	公園、トイレ、休憩所等の公共用施設を適切に維持管理することで、市民、観光客等の憩いの場としての安全で快適な施設環境を提供できた。						
	・消耗品費（施設管理用消耗品等）		71千円									
	・燃料費（離湖管理棟灯油代）		8千円									
・光熱水費（トイレ等電気料、上下水道使用料等）		1,280千円										
・修繕料等（ブナハウス内山屋根塗装等）		3,207千円										
・通信運搬費（離湖公園電話料等）		32千円										
・手数料（し尿汲取手数料等）		352千円										
・保険料（建物火災保険）		158千円										

予算科目	款	11 災害復旧費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	04 その他公共施設災害復旧費	4,079千円	4,382千円	303千円	93.0 %		
	目	01 その他公共施設災害復旧費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	01 その他公共施設災害復旧事業				0千円		
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		諸収入		市有建物損害共済金		798千円	
目的	令和3年8月に発生した台風9号及び落雷により被災した公共施設の早期復旧を図る。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	○商工振興課所管施設							
	・ 京都工芸繊維大学京丹後キャンパスキュービクル修繕	1,127千円						
	・ 旧丹後商業活性化センター屋根瓦修繕	462千円						
○網野市民局所管施設								
	・ 浜詰ビーチサイドブース屋根張替工事	614千円						
	・ 浜詰ビーチサイドブースサッシ及び雨樋修繕工事	409千円						
○大宮市民局所管施設								
	・ プナハウス取水池土砂撤去、集水管復旧工事	178千円						
○観光振興課所管施設								
	・ 小天橋海水浴場連絡所照明器具修繕	55千円						
	・ 宇川温泉よし野の里倒木、屋根瓦修繕工事	203千円						
	・ 道の駅てんきてんき丹後倒木撤去	169千円						
	・ はしうど荘屋根鋼板修繕工事	692千円						
	・ 森林公園スイス村倒木、ガラス修繕	170千円						
				成果・課題	被災した公共施設の早期復旧を図ることで、利用者等への影響を最小限にとどめることができた。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							17,174千円	17,778千円	604千円	96.6 %
	目	09 企画費										(参考)当初予算額
	事業	08 ふるさとブランド推進事業【再掲】										31,762千円
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			2,500千円					
目的	地域、関係機関等との連携やデータ分析に基づくプロモーションにより、ふるさと納税を活用した地域ブランディング及び地域経済の活性化を目指す。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	<p>○プロモーション経費 13,337千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税特設サイト充実費用 5,447千円 特設サイト内特集記事の作成、返礼品写真撮影など</li> <li>ウェブ広告等PR費用 5,456千円 各ポータルサイト内PR広告、SNS広告など</li> <li>その他PR関係費用 1,812千円 PRチラシ・パンフ作成（チラシ：6,000枚、パンフ：10,000枚） イベント出展（11月28日（日）三重県いなべ市「わんてらす」） 広告料（新聞及び雑誌）、デザイン使用料など</li> <li>同窓会案内文書発送業務委託料（峰山高校） 622千円 本市出身者への呼びかけ実施、対象：5,386人（12月17日発送）</li> </ul> <p>○事務経費 944千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先進地視察費用（旅費、有料道路通行料、自動車借上料等） 542千円</li> <li>旅費、有料道路通行料、駐車場使用料 179千円</li> <li>印刷製本費（返礼品同梱用お礼状 60,000枚） 198千円</li> <li>消耗品費（事務用品） 25千円</li> </ul>				<p>○地域ブランド創出モデル事業委託料【所管：商工振興課】 2,893千円</p> <p>市内事業者と大学生インフルエンサーをマッチングし、地域資源を活用した新たな商品開発とブランド化に向けた情報発信（インフルエンサーマーケティング）に取り組むモデル事業。商品開発、試験販売等を実施するとともに、SNS等による新商品等のPR・拡散を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内参加事業者数：6社 開発商品数：10点</li> <li>インスタグラム投稿 発信：116回 リーチ数：72,893</li> <li>河原町物産展：2月27日（日） 集客：約500人</li> </ul>							
	成果・課題	<p>○ふるさと納税ポータルサイト内広告などウェブ媒体での広告に注力し、本市の返礼品をはじめ、まちの魅力発信が図れた。</p> <p>○6事業者とインフルエンサーと事業者が、シルクを使ったフェイスマスク、ちりめん雑貨（巾着や花飾り）など、丹後の地域資源を活かし10点の商品を開発した。</p> <p>○特設サイトを認知してもらうためのキャンペーン企画の実施、PRを展開していく必要がある。</p>										